

多様性の中の ウェルビーイング

— 芸術・雇用・社会

2024年 **3月20日** [水・祝]

14:00-17:00

大阪大学中之島センター10階
佐治敬三メモリアルホール

- ▶ 障害のある方が表現者として描く絵画や、ダンスパフォーマンスを鑑賞し、共有します
- ▶ 芸術を媒介とした雇用の可能性と、その社会的仕組みづくりについて議論します
- ▶ 職場・働き方の多様性とウェルビーイングについて考えます

ダンサー 森田かずよ

参加無料

要申込



主催 大阪大学人間科学研究科未来共創センターIMPACTオープンプロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」(代表 山田陽子)
共催 国際障害者交流センター ビッグアイ、大阪府、大阪大学中之島芸術センター、大阪大学UNESCO Chair

プログラム

- 14:00 **挨拶** 渥美公秀（大阪大学人間科学研究科長）
- 14:10 **趣旨説明** 山田陽子（大阪大学）
- 14:20 **アート作品紹介**
鈴木京子（国際障害者交流センタービッグアイ副館長）
- 14:50 **ダンスパフォーマンス「アルクアシタ」**
森田かずよ（Performance For All People.CONVEY 主宰）
- 15:30 **ディスカッション・全体討論**
登壇者：永田靖（大阪大学中之島芸術センター副センター長）、
鈴木京子、森田かずよ、山中浩司（大阪大学）
司会：山田陽子

登壇者プロフィール（敬称略・五十音順）

鈴木京子

国際障害者交流センター ビッグ・アイ 副館長、アーツ・エグゼクティブプロデューサー。
障害のある人が舞台芸術に表現者・鑑賞者として参加する舞台の企画・制作や、全国の劇場・音楽堂等の研修会講師、企画・制作等のコーディネートを行う。

特定非営利活動法人CUE-Arts 理事

文化庁・厚生労働省「障害者の芸術活動への支援を推進するための懇談会」委員

大阪府「文化芸術部会」委員

『インクルーシブシアターを目指して／障害者差別解消法で劇場はどうかかわるか』（ビレッジプレス）

永田靖

大阪大学中之島芸術センター副センター長。大阪大学副学長、大阪大学総合学術博物館長、日本演劇学会会長、IFTR（国際演劇学会）Asian Theatre WG Convenerなどを歴任。専門は演劇学、20世紀演劇史と演劇理論。主として日本の近現代演劇や現代アジア演劇のドラマ論研究やインターカルチュラルリズムの研究、ロシア・アヴァンギャルド演劇の演技論研究などを通して、近代演劇やその演劇史記述のトータルな再検討を行う。また近年のパフォーマンス研究を含む演劇研究方法に関心を寄せ、近隣の自治体や諸機関と共同で演劇実践方法やその文化政策の研究を行う。

森田かずよ

「Performance For All People.CONVEY」主宰。「二分脊椎症・側湾症」を持って生まれ、18歳より表現の世界へ。自らの身体の可能性を日々楽しく考えながら、ダンサー、俳優として活動。ヨコハマパラトリエンナーレ、国民文化祭、庭劇団ペニノ、アジア太平洋障害者芸術祭など国内外の多数の公演に出演し、TVなどメディア出演も多数

東京2020パラリンピック開会式にソロダンサーとして出演

第11回北九州&アジア全国洋舞コンクール バリアフリー部門1位

PERSOL Work-Style AWARD 2020 ダイバーシティ部門受賞

神戸大学人間発達環境学研究科にて修士号